

日本橋、京橋地区にある老舗の店主たちの似顔絵30点が一堂に会

京橋の老舗当主 30人の似顔絵展

日本橋で日本画家の福永さん



作者の福永明子さんと似顔絵の前に立つ鳥安社長の渡辺秀次さん

する展覧会「老舗の顔力」が、中央区日本橋本町3の小津和紙ギャラリーで6日まで開かれている。
日本橋生まれの日本画家、福永明子さん(40)の作品。「日本橋めぐりの会」(川崎晴喜代表)の依頼で、昨年12月下旬から描き始めた。400年以上の歴史を持つ江戸扇子

「伊場仙」や、明治5年創業の合鴨料理「鳥安」の社長、女将らが生き生きとした表情で描かれている。
福永さんは同会の店舗のシャッターに浮世絵を描く「シャッターチャンスプロジェクト」にも参加しており、先月、レストラン東洋(日本橋1)に「東海道五十三次日本橋朝の

景」を完成させたばかり。「似顔絵とシャッター絵を通して、江戸の洗練されたしぐさが息づく日本橋を感じてもらえたら」と話している。
午前10時～午後6時、最終日は午後4時まで。問い合わせは同ギャラリー(03・3662・1184)。
【田後真里】